



▲新1年生の児童たち

「あいさつ・やさしく・みとおす」を大切にする東っ子

桂川東小学校 校長 薄井純一

令和6年度、東小学校は新1年生11名を加え、114名でスタートしました。令和6年度の学校教育目標は、「未来を豊かに創造する児童の育成」としています。「未来」とは、5年後・10年後の未来もありますが、本校では、「今日は、国語の時間に自分の考えを友だちに伝えよう」や、「友だちとこんな活動を頑張ってみよう」など、子どもが、自分の近い未来について、自分なりに考え・判断・表現できることを目指します。この近い未来を豊かに創造する力を育成することが、これからの予測困難な時代をしっかりと生き抜く力につながると考えます。

そこで、新学期の始業式では、東っ子に1学期のキーワードを次のように示しました。



114名の東っ子は、このキーワードを意識しながら、主体的に、協働的に、これからたくさんさんの活動に取り組んでいきます。私たち職員は、そんな東っ子全員が、毎日の学校生活を生き生きと過ごすことができるように、

- ① 児童が安心・安全に学校生活を送るための学年経営・学校経営
- ② 児童が主語になる授業づくり
- ③ 地域とのつながりづくり

この三つに努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも本校教育活動に対し、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

自分だけの花を咲かせよう

桂川小学校 校長 合澤博之

運動場の端に高さ2メートル位の小さな桜の木があります。2年前に植えられた「嘉代子桜」です。今年の春、その桜が初めていくつかの花を咲かせました。



▲初めて咲いた嘉代子桜

「嘉代子桜」は、長崎で原子爆弾により亡くなった林 嘉代子さん（当時15）を悼んで長崎市の城山小学校に植えられた桜に由来しています。平和を希求する心が全国に広がることを願って、日本非核宣言自治体協議会（長崎市）等が、各地に苗木を寄贈しており、令和4年の2月に桂川小学校にも植樹されました。

今年度4月の始業式では、子どもたちに「嘉代子桜がはじめて花を咲かせてくれたこと」を伝えました。そして、「2年以上の間、1分1秒も休まず全身に静かに力を蓄え、きれいな花を咲かせた嘉代子桜のように、

これから始まる1年も、将来自分だけの花を咲かせるために、しっかりと学ぶ1年にしよう」と伝えました。うなずきながら聞いてくれる子どもたちの表情が印象的でした。

桂川小学校の全校スローガンは、今年度も「やればできる桂小キッズ」です。「やればできる」には、

やさしく れいぎただしく  
ばりばりがんばる できるまでやる  
きもちを考える ルールをまもる

の意味が込められています。この合言葉をもとに、子どもたちと教職員と協働して、「明るく前向きな雰囲気」の学校づくりができるよう努めていきます。

新年度を迎え、子どもたちはそれぞれに小さな決意や期待を持って登校していると思います。子どもたちの決意や期待が、くじけないで実現するように、そして子どもたちが将来、自分だけの大きな花を咲かせることができるように、「1人1人の子どもが主語となる学び」をめざして、教職員一同、心を一つにがんばります。保護者の皆様・地域の皆様、今年度も温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。